

# 高知市立愛宕中学校第1学年 国語科「シカの落ち穂拾い」

【本時（ 3 / 6 ）の評価規準】

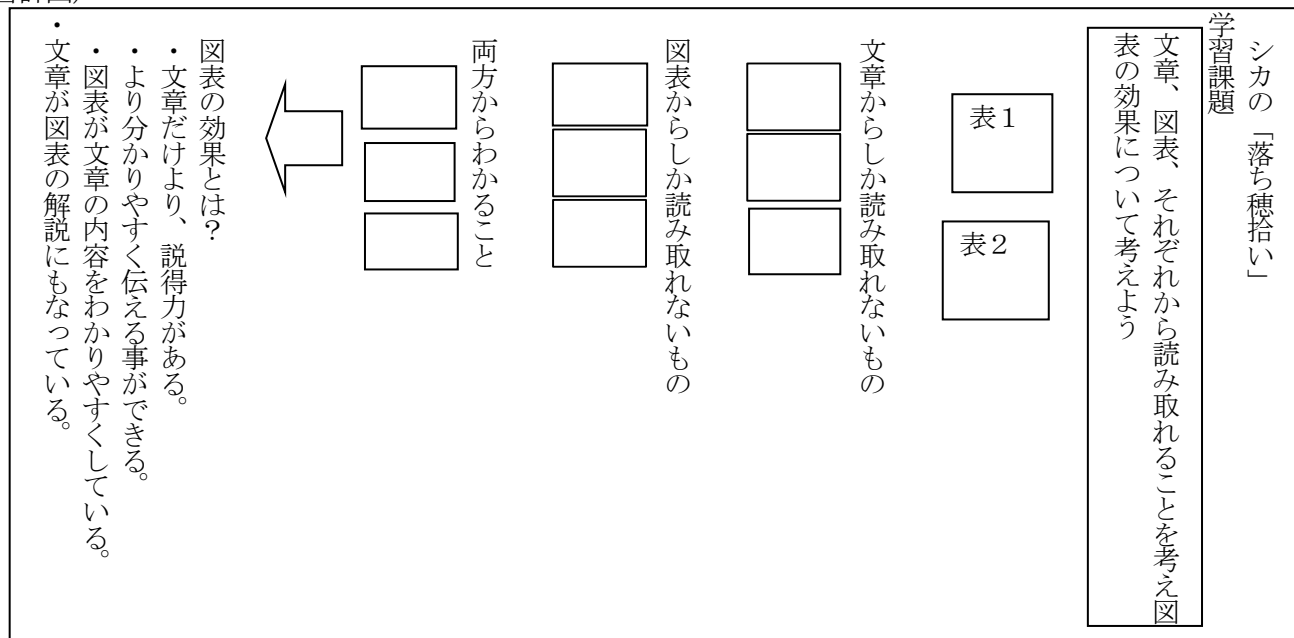
読む能力

説明の文章を展開する上で図表が果たしている役割を捉え、その効果について考えている。【C(1)エ】

## 児童・生徒の主な活動

学習課題 文章、図表それぞれから読み取れることを考え、図表の効果について考えよう。

(板書計画)



◆文章から読み取れること、図表から読み取れること、両方から読み取れることをワークシートにまとめる。

個人

- ・図から読み取れること…落ち穂拾いに出会う確率は、春が多い。イネ科の供給量は夏にかけて増える。
- ・表から読み取れること…落ち穂拾いでシカが採食した植物は秋が多い。

◆まとめたことをグループで交流する。

個人 → 小グループ

※個人の意見を発表する時には必ず、根拠となる部分を示す。

◆整理したことをもとに、図表の効果について考える。

個人 → 小グループ → 全体

・図表が文章の内容をより分かりやすくしている場合、文章が図表の解説になっている場合があることを押さえる。

個人で考え、グループで話をする。

その際に、友だちの意見で「なるほど」と思った考えはメモを取る。

その後、全体で交流する。自分の意見を述べる時には、必ず根拠を示す。

生かしたい知識・技能

- ・接続詞・指示語の働き。
- ・個で考えたことをグループや全体で交流する際には、必ず根拠を示して発言する。
- ・いろいろな図表の効果。

## 言語活動充実のポイント

言語活動：説明の文章を展開する上で図表が果たす役割を捉え、その効果について自分の考えをもっている。

【C(1)エ】

- ・単元を貫く言語活動として、「記録の文章として必要なことは何か」を設定して、総合のまとめや理科のレポートを書く際に学んだことを生かすため、生徒が主体的に課題に取り組めるよう学習活動を工夫する。

## 言語活動充実のための教師の主な働きかけ

・本文を読み、文章からしか分からない事、図や表からしか分からない事、両方から分かることをそれぞれ考えて見ましょう。  
 ・まずは自分の考えをまとめていきましょう。

・図表の効果を考えるために、図表や見出しのない本文と見比べる。  
 ・発言する際には、根拠を示して発言できるよう根拠を明確にし、自分の考えを深めさせる。

・グループで交流する時には、必ず自分の意見に根拠を付けて発言しましょう。また、友だちの意見で「なるほど」と思うものは、ワークシートにメモを取りましょう。

・考えを伝えあうことで、自分自身では気づかなかったことに会い、思考を深める事ができる。  
 ・自分の意見を伝えあうことで色々な考え方やものの見方があることに気づく。

図表の効果について、自分の考えをまとめてみましょう。

図表にはわかりやすさと説得力という二つのねらいがあることを理解させる。

## 実践を振り返って

・本文から図表をすべて除いた文章から入ったのはよかったと思う。文章を読んで、ここにはどんな図や表がほしいかなど、根拠を含めて活発な意見交換ができた。ホワイトボードを使ったり、図表を電子黒板で見せたりすることで教育効果は上がったと思う。

・最後まで流れがわかりよかった。  
 ・一つ一つの図表を割り振って考えさせることで全員が学習に参加していた。

・学習の有用感や、定着度を振り返る場が少なかった。

・グループ間で書き方を教えあうなど学びが深まっていた。

・子どもの言葉でまとめができればよかった。

## 指導の効果

- ◆ ホワイトボードやICTを使うことで理解が深まった。
- ◆ 分かりやすくレポートを書くために、効果的な図表とは何かと考え、総合の新聞作成につなげることができた。